

平成 19 年度 教師海外研修(派遣国:マレーシア)実践報告書

1. タイトル	マレーシア出身 うーたんくんの悩み事 ～ばーむくんとの付き合い方から考える～	
2. 氏名	加島 裕介	
学校名	大東市立四条南小学校	担当教科 一年担任
3. 実践教科	生活総合・各教科	時間数 6~8時間
4. 対象生徒・学年	一年・五年	
対象人数	一年生3学級(76名)・五年生3学級(85名)	

5. カリキュラム案

(1) 実践の目的

●一年生

- 子供たちにとっての「世界」とは、今までの生活経験の中で、見たり聞いたりしたものでしかなく、世界には実際にどんな国があって、どんな人々や生活や自然があるのかはほとんどわかっていない。そこで、マレーシアで見てきたこと聞いてきたことを紹介することを通して、マレーシアの自然、人々の生活や文化に触れる。
- パームオイルやオランウータンやボルネオ象の現状から、環境問題への関心を持つ。

●五年生

- 昨年度の総合的な学習で、地域の環境問題について学習をした。マレーシアの熱帯雨林やパームオイルについての学習を通して、環境問題についての理解を深め、自分たちにできることは何かを考え、行動に移す姿勢を養う。
- 本年度は、国際理解教育をテーマにして、これまで、いろいろな国についてそれぞれ調べ学習をし、実際に外国の方を招いて、スポーツ交流などをしている。マレーシアというひとつの国を紹介しながら、日本とのつながりや、その国独自の文化などを知る。

(2) 授業の構成案

●一年生

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1限目 テーマ:世界の国へズームイン。 ねらい: 自分たちの学校と、世界の国々の位置関係を知る。世界のいろいろな国に興味を持つ。	・「動物の名前&住んでいる国当て」クイズ ・世界のじゃんけんでじゃんけん大会 ・興味付けとして、オランウータン人形をウータン君として紹介する。	グーグルアース パワーポイント オランウータンのぬいぐるみ
2・3限目 テーマ: マレーシアから。ウータン君の自己紹介。 ねらい: マレーシアの自然と文化に親しむ。	・マレーシアの自然や、町の様子、住んでいる人々についてのスライドの説明。 ・マレーシア BOX ・マレー語で挨拶しよう。	マレーシア BOX(切手、絵葉書、パームの種、セパタクロー、お金、サロン、民族衣装、虫の標本、ドラえもんDVDなど…) オランウータンのぬいぐるみ

4・5限目 テーマ:熱帯雨林について。 ウータンのお友達、熱帯雨林から、パーム君登場。 ねらい: 身の回りの多くのものが熱帯雨林でできていることと、パームオイルについて興味を持つ。	・スライド説明(マレーシアの豊かな熱帯雨林について、その役割) ・熱帯雨林からできたもの探し。 ・熱帯雨林への移住者として、パーム君を登場させる。 ・パームオイルでできたもの紹介。	パワーポイント パームオイルでできている、身の回りのもの。洗剤、菓子、インスタント食品など どらえもん DVD オランウータンのぬいぐるみ パームヤシの種
6・7限目 テーマ: ウータン君の悩み事 ねらい: パームヤシのプランテーションのよって住処を追われているオランウータンをはじめとした、動物たちへ思いをよせる。パームオイルを使っているのは自分たちであることとつなげて、環境についての考える。	・絵本紹介 ・スライド説明	絵本「Kojiu and the Banana tree in the Lower Kinabatangan」 オランウータンのぬいぐるみ
8限目 テーマ: わたしたちにできることは何だろう? ねらい: 前時の学習から考えたことから、環境のためにできることはいか、考えを持つ。	パワーポイント 電子ボード 自分たちにできることを考え、ワークシートに書き込む。	オランウータンのぬいぐるみ絵本 「ハチドリのひとしづく」

● 五年生

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1限目 テーマ:マレーシアについて。 ねらい: マレーシアの生活や文化の親しむ。	マレー語で挨拶 マレーシア BOX パワーポイントでの説明	グーグルアース パワーポイント オランウータンのぬいぐるみ
2・3限目 テーマ:熱帯雨林について。 ねらい:身の回りの多くのものが熱帯雨林からできていることを理解し、多くの負荷を自分たちの生活が与えていることを知る。パームオイルの有用性と、マレーシアと日本のつながりの深さを理解する。	・スライド説明(マレーシアの豊かな熱帯雨林について、その役割) ・熱帯雨林からできたもの探し。 ・パームオイルでできたもの紹介。	パワーポイント パームオイルでできている、身の回りのもの。洗剤、菓子、インスタント食品など どらえもん DVD オランウータンのぬいぐるみ パームヤシの種
4・5限目 テーマ:ボルネオの動物たち（オランウータン・ボルネオ象） ねらい: パームヤシのプランテーションと動物の現状を知る。パームヤシによって、多くの自然が破壊され、地球温暖化にも大きな影響を与えていることを理解する。	・スライド説明 ・宇宙船地球号 DVD から、ボルネオ象の現状について。	絵本「Kojiu and the Banana tree in the Lower Kinabatangan」 オランウータンのぬいぐるみ

<p>6限目</p> <p>テーマ：わたしたちにできることは何だろう？</p> <p>ねらい：前時の学習から考えたことを交流し、環境のためにできることは何かという考え方を持つ。</p>	<p>・絵本紹介 ・スライド説明 自分たちにできることを考え、ワークシートに書き込む。</p>	<p>絵本「ハチドリのひとしづく」 オランウータンのぬいぐるみ</p>
--	---	---

6. 授業実践の詳細(一年生)

○世界の国へズームイン。

- ① 動物クイズ
- ② 動物の出身は？クイズ
- ③ グーグルアースで行ってみよう
- ④ 世界のじゃんけんでじゃんけん大会
- ⑤ 世界の挨拶

ベンガルトラ…インド
パンダ…中国
カンガルー…オーストラリア
ハチドリ…アルゼンチン
オランウータン…マレーシア
アメリカザリガニ…アメリカ(北アメリカ)
カメレオン…マダガスカル

<児童の反応と、授業者の感想>

自分たちの学校から、世界各地へズームできることにはとても驚いていた。自分の家を映してほしいという反応がすごくあった。自分の知っている世界と、遠く離れていると思っていた世界がつながっていることを地図上で感じていたかもしれない。

以前から、外国にいってきたという話はしていたので、いきなり動物のクイズから入った。「どれだけ知っているかな？」という形で。

世界のじゃんけんは、挨拶の言葉と含めて、いろいろな国によって掛け声が違うということでやってみた。じゃんけん自体が、いろいろなところでされているということにも驚いていた。

○マレーシアから。ウータン君の自己紹介。

- ① ウータン君の自己紹介
動物クイズの中から、オランウータンのウータン君を連れてきたと紹介する。
- ② マレーシアのスライド紹介
ウータン君の自己紹介も兼ねて、マレーシアのまずは自然のようすからスライドで紹介。
文化、暮らし、ダガット村の様子の紹介
- ③ マレーシア BOX(切手、絵葉書、パームの種、セパタクロー、お金、サロン、民族衣装、虫の標本、ドラえもん DVDなど…)
ウータン君の荷物の中から、実際に触れてみて、マレーシアについて親しみを持つ。
- ④ マレーシアの挨拶

<児童の反応と、授業者の感想>

オランウータンのぬいぐるみを、ウータン君として、紹介した。いくつかオランウータンの子どもの写真も紹介していたので、みんな、かわいいといってすごく親しみを持ってくれている。抱っこしたり、触ってみたいで、みんなで順番に触っていた。

マレーシアの昆虫の標本には、とても驚いていた。その前にもスライドで、象やトカゲや、巨大なシジミ、ラフレシアなど紹介していたので、マレーシアの生き物はいっぱいいて、すごくてかいものもあるんだという感想を持っている様子だった。マレーシアに行ってみたい。という感想もあった。

ダガット村の様子も、スライドを交えながら紹介した。電気も水道もない生活にとても驚いていた。

民族衣装や、サロンなど、男物の大人用しかなかったが、休み時間などにも、順番に着てみると、実物

があったので、興味をひきつけるには十分だったと思う。

セパタクローのボールなどは、何でできているのか？どうやって遊ぶのか？など、みんなよく意見を出していた。

○熱帯雨林について。ウータン君のお友達、パーム君登場。

- ① 热帯雨林について、ウータン君をナレーター役として、その役割や、森の様子について紹介する。
- ② 身の回りにある、熱帯雨林でできたもの探し。
教室や家にあるものの中から、熱帯雨林が元になって作られているものを探していく。
- ③ 実は、隠れて日本までついて来た、隠れ上手のパーム君がいるんです。
パーム君はとっても役に立っているのに、隠れるのが上手で、みんなにはなかなか見つからなかつた。ということを踏まえて、パームオイル原料のお菓子や洗剤や化粧品の空き袋空き瓶などを紹介していく。

○ウータン君の悩み事　○わたしたちにできることは何だろう(授業計画)

- ① パーム君の活躍の裏で、実は、ウータン君たちは困っていることがあるということを紹介する。
絵本「Koju and the Banana tree in the Lower Kinabatangan」
- ② ハチドリさんからのお手紙
ボルネオの困っている動物さんたちへ、ハチドリさんからアドバイスのお手紙が届いたという設定で、
絵本「ハチドリのひとしづく」の読み聞かせをする。
- ③ 自分たちにできることはなんだろうか？を考えて、ワークシートに書く。

※ ●五年生については、まだ授業の実践はしていません。大まかな流れは一年生と変わらないが、個々の時限において、もう少し踏み込んだ内容まで扱おうと考えています。

7. 所感・反省点・改善点

マレーシア BOX など、物を通しての学習は、子供たちにとっては、とてもわかりやすく、学習に入りやすいと感じた。一年生では、どこまで興味を持続してくれるか不安だったが、
スライドを交えた生き物の話も、ただ自分が体験してきたことについての話も、すごく興味を持って聞いていた。外国って不思議だな、行ってみたいな、もっと聞きたいなという感想があり、今回の学習でとても興味を持ってくれたのではないかと思う。

1年生では、オランウータンのぬいぐるみや、パームオイルの実をキャラクター化して授業を展開していった。これによって授業へのどつきはとてもよかったです。ただ、反省として、ややパーム君が悪者になってしまったのではないかというところがある。あまりにオランウータンのかわいさ？という部分が出すぎてしまって、パームオイルによってオランウータンなどの動物が苦しめられているという印象が強く残った感がある。パームオイルをたくさん使っているのは日本であり、自分たちであり、というところと、パームオイルが熱帯雨林を破壊しているというところへは、なかなかつながりにくかったようであった。中には自分たちの生活が結局のところオランウータンを苦しめているところにつながっているということに気づいている様子もあるが、まだ一年生には難しい部分があつたように思う。しかし、今のオランウータンの現状などを知ることで、何らかの環境保護への興味付けはできたように思うが、これも十分とはいえない。こちらの展開の仕方にも多くの改善点があることは明らか。

授業をすすめてやってみれば見るほど、伝えておかねばということが出てきてしまい、まだまだ改善すべきところばかり、というのが今回授業を進めていての感想です。

8. 使用した教材、授業の様子

だい 4 もん

- ・つぎの どうぶつの 名まえは?
この子は… むずかしいかな?

① ゴリラ

② チンパンジー

③ オランウータン



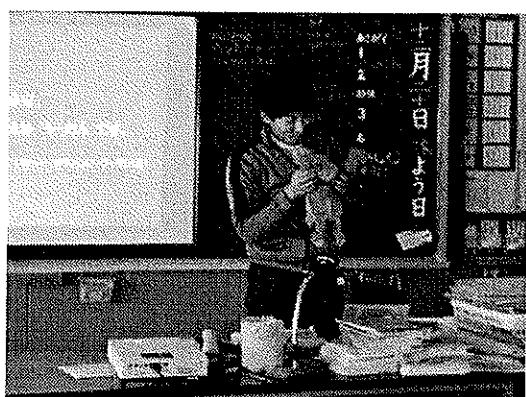
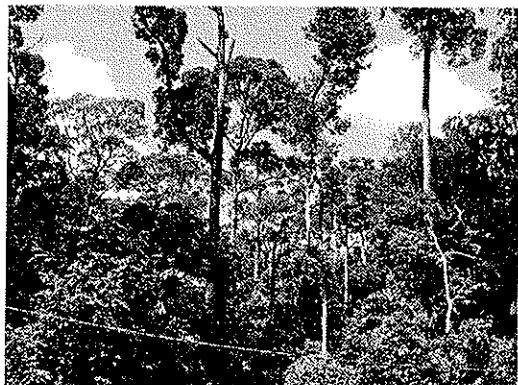
だい 3 もん

- ・つぎの どうぶつの 名まえは なに?

① ランガルー

② コンガルー

③ カンガルー



9. 参考文献・引用文献

- ・「世界のじゃんけん」
- ・「ecoborneo ボルネオ・ネイチャーブック」山と渓谷社 2006 年
- ・「Kojiu and the Banana tree in the Lower Kinabatangan」
Ruth Lim WWF—Malaysia 2004
- ・「ハチドリのひとしづく いま、私にできること」辻信一 光文社 2005 年
- ・「あなたが世界を変える日」セブアン・カリス＝スズキ 2003 年
- ・「不都合な真実」アル・ゴア
- ・「JICA 研修資料」
- ・「地球の歩き方 マレーシア」